

 <p>親と子の笑顔でつくる 家庭の和</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">青少推</div> <div style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">だより</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; text-align: center;">毎月第1土曜日は 少年の日</div> <div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; text-align: center;">毎月第1日曜日は 家庭の日</div> </div>	<p style="text-align: center; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; margin: 0;">青少年の心を育てるキャンペーン</p> 
--	--	--

■ はじめに ■

群馬県青少年育成推進会議 会長 清水章弘



令和5年度から3年間、2期目の県会長を務めております清水章弘です。

令和7年度の活動のなかで、市町村会長等研修会を新しい形で実施しました。これまでは講演会形式でしたが、今回は県内のいくつかの地域にお願いをして、事例を発表していただきました。館林市、前橋市みずき地区、沼田市の3地区から、それぞれ「年間を通じた青少推の活動」「親子夏休み工作教室の様子」「行政や他団体と連携した青少年育成活動」について発表していただきました。3地区の発表はいずれも諸活動の推進に参考にでき、活動のあり方を模索している地域には大きな励みとなり、有意義な研修になったのではないかと考えています。次年度以降も、情報交流のできる場をいろいろな機会を捉えて作っていきたくと考えています。

さて、現代は雇用形態の変化や産業構造・技術革新の変化など様々な要因が重なり合い、相対的に収入格差が広がっています。貧困家庭も増加してきており、より厳しい生活環境の子どもが多くなってきていると考えられます。地域に根差した活動をする推進員の皆様は、地域の様々な情報をいち早く受け取れる立場にいます。その利点を生かし、困難な状況にある子どもに気付いたときは関係機関につないでいただき、健全育成を阻む被害や非行、虐待と行った少年問題の解決の一助となっていたいただければ幸いです。

近年、フェイクニュースや過激なデマによる民意の

捏造など、インターネットを舞台とした様々な問題が取り上げられるようになってきました。加えて、子どもたちの教育環境において、タブレットPCの導入に伴い普及の進む「生成AI」が青少年の成長にどのような影響を及ぼすかという点も重要になってきています。青少年育成推進会議としては、インターネットを利用した「いじめ」「犯罪被害」「ネット依存」「ゲーム依存」等を重要な問題として捉え、「おぜのかみさま」県民運動を推進してきています。そのうえで、新たな「生成AI」の活用からくる課題に対して、子どもたちだけでなく、私たち自身の生活に及ぼす影響を見据え、その情報を共有し課題を解決できるように努めていきたいと考えています。

このように、インターネットを介した様々な問題がありますが、青少年の健全育成には家庭と地域の良好な環境作りが欠かせません。毎月第一土曜日は「少年の日」、毎月第一日曜日は「家庭の日」の普及活動を進めると共に、子どもの貧困など困難な状況にある子どもや若者に対する支援について、各地域の実情に応じた方法で関係団体などと連携し進めていただきたいと思います。

おわりに、群馬県青少年育成推進会議は昭和41年11月に結成大会を開催し、以来60年の歳月を積み重ねてまいりました。令和8年4月25日に60周年記念大会を開催することとなりましたので、推進員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和7年度通常総会

5月14日ぐんま男女共同参画センターで開催されました。行政理事、団体理事、市町村会長の出席の下、以下の議案について協議されました。

議事については、

第1号議案 令和6年度事業報告

第2号議案 令和6年度決算、監査報告

第3号議案 令和7年度事業計画

第4号議案 令和7年度予算

が原案どおり承認されました。

会 長	清水 章弘 (榛東村)
副会長	下田貴美子 (富岡市)
	金子 弘司 (みどり市)
参 与	小林 昭紀 (沼田市)



第47回少年の主張群馬県大会

今年の少年の主張は県内161の中学校から35,809名の生徒が参加しました。

各学校の代表者による市町村大会、そして県内5か所で教育事務所単位のブロック大会が行われました。16名が最終選考の県大会に出場し、自身の経験を通じて学んだことなどを力強く発表しました。

審査の結果、次の方々が受賞されました。

(敬称略)

■ 最優秀賞

- 心の声に耳をかたむけて

下仁田町立下仁田中学校 3年 岩井 ひなた

※第47回少年の主張全国大会に出場し、審査委員会特別賞を受賞しました。

■ 優秀賞

- 俗語依存

高崎市立大類中学校 3年 牟田口 華愛

- 戦争の意味

館林市立多々良中学校 1年 アミン ナズル

- 引き合う力

太田市立太田中学校 3年 山口 葵生

- ONLY

太田市立東中学校 3年 吉川 悠真

■ 努力賞

- 世界を変えるのは

前橋市立箱田中学校 3年 小池 陽菜乃

- 心の目を開いて

中之条町立中之条中学校 3年 大谷 柚羽

- 「LGBTを認めて」

太田市立城西中学校
3年 MAI NGUYEN NHAT NAM

- 私たちの使命

前橋市立荒砥中学校 3年 齋藤 千咲

- 時間は有限・愛は無限!?

富岡市立西中学校 3年 工藤 泰賀

- 「ありがとう」が遠くなる時代に

みなかみ町立みなかみ中学校 3年 小池 拓翔

- 当たり前は幸せのシンボル

伊勢崎市立第二中学校 3年 松田 直也

- 想像力がつなく未知の世界へ

伊勢崎市立境南中学校 3年 栗原 千波

- 三十一センチの思いやり

高崎市立豊岡中学校 3年 須藤 胡羽

- 知ることは

沼田市立薄根中学校 3年 小菅 夏々弥

- 私ほらしく生きていく

嬭恋村立嬭恋中学校 3年 下谷 杏

少年の主張 最優秀賞

心の声に耳をかたむけて

下仁田町立下仁田中学校 三年 岩井 ひなた



私には大好きな妹がいます。生まれてすぐに心臓の病気があることがわかりました。妹の心臓には3ミリの穴が空いています。見た目には病気があることはわかりませんが、生活の中で気をつけなければならないことはたくさんあります。

例えば、家族が大好きな花火です。私は花火に照らされた家族の笑顔が大好きでした。しかし、妹に笑顔はありません。煙を吸い込むと呼吸を荒げ涙を流しながら苦しがるのです。その日妹は煙を吸わないように部屋の中で花火を楽しむことになり、私はガラスの向こうにいる妹に向けて花火の花を咲かせていきました。しかし妹は、我慢できず外に出てきてしまったのです。そこで、花火は中断されました。モヤモヤした気持ちで部屋に入ると母は妹を抱きしめながら、私に言いました。「ひなた、また花火しようね。本当にごめんね。」と。その時、私の心のモヤモヤが弾けました。「どうしてお母さんが謝るの?! 苦しくなるから部屋にいてって言ったのに! 悪いのはこの子でしょ?!」そう叫んでいました。妹が母の腕の中から泣きながら言いました。「ひなた、ごめん。一緒に花火がしたくて。私、もう花火しないから。ごめんね。」と。かわいくてかわいくて大好きなのに私は妹を傷つけてしまいました。その日以来、我が家の夏から花火が消えました。

花火のない夏が我が家の当たり前になってきた去年の八月、私は町の海外派遣事業でオーストラリアに行きました。現地の小学校の生徒と交流する中で、気になることがありました。その学校には日本のような特別支援学級というものはありませんでした。なんと、オーストラリアでは一人一人の違いを個性として受け入れ、能力や障害の有無に関わらず全ての生徒が一般学級で能力を発揮できるように環境を整えるようにしていました。ホストマザーが言いました。「病気や障害にばかりに目を向けるのではなく、その人自身をみつめることを忘れないで。」と。

ハッとしました。やるべきことは妹を部屋に閉じ込めることじゃない、病気を理由に我慢させたり、何か

を諦めさせることじゃない。大切なのは、妹の心に寄り添い、できる限り環境を整えてあげることだと気づきました。病気の向こう側の妹自身をみつめて、心の声に耳を傾けて。

日本に帰国してすぐに「今年の夏は花火をしよう!! 家族みんなで!!」と伝えました。みんなで相談し、妹には常に風上にいてもらい、マスクを着用してもらいました。そして、弟と一緒に、花火の持ち手に割り箸を足して長くし、煙を吸い込みづらくなるよう特製花火を作りました。何年かぶりに花火が家族の笑顔を明るく照らしました。最後の花火を弟が手渡すと妹は、はにかみながらそれを受け取りました。マスクで隠れた涙でくしゃくしゃの笑顔が花火が照らしました。そして震える声で言いました。「一緒にできた。最後までできた。ありがとう。」妹の笑顔は私の胸に強く突き刺さりました。そして思いました。病気や障害を理由に諦めさせてしまう社会ではなく誰もが夢や希望を叶えられるような「諦めなくていい社会」になったらどんなに素敵だろうと。

私たちが生きているこの社会には目には見えない障害や病気を抱えている人たちがたくさんいます。今、この瞬間にも生きづらさを感じ、病気や障害を理由に何かを諦めている人がいるかもしれません。その人が、あなたの隣にいるかもしれません。私たちはそんな想像力を持って社会をみつめていかなければならないと思うのです。誰ひとりとして夢を諦めなくていい世界へ変えていくことはこの社会に生きる私たち全員の課題です。だから私は目をそらさず自分自身の課題として捉え、考え続けていきたい。

妹の心臓にある3ミリの穴は塞がることはありません。でも、一人一人の配慮や理解で、誰かの心の穴を塞ぐことができるかもしれません。そう信じて私は今日も心の声に耳を傾けていきます。

令和7年度「少年の日」「家庭の日」普及啓発作品コンクール

(敬称略)

標語の部3,740点、絵画・ポスターの部386点の応募があり、その中から入賞作品61点、入選作品154点が選出されました。

入賞作品は12月5日～19日、県庁1階県民ホールに展示しました。

最優秀賞を受賞された方と作品を紹介します。

標語の部			最優秀賞の受賞者と作品
氏名	学校名	学年	作品
三好 瑠佳	太田市立毛里田小学校	6年	かえるのは まわりじゃなくて 自分から
金城 慧咲	樹徳中学校	2年	そばにいて 支えてくれる 温かさ
小林 悠乃	群馬県立利根実業高等学校	1年	家族にも 毎日伝える ありがとう

絵画・ポスターの部

最優秀賞の受賞者と作品



かそくとながしそうめんをしたよ
太田市立尾島小学校2年
高木 結菜



みんなで植樹して、
自然を守ろう
太田市宝泉小学校3年
折笠 未来



家族で、うめ仕事
太田市立旭小学校6年
植松 葵



届け！じいじパワー
高崎市立塚沢中学校2年
山崎 結葉

地区別青少年育成推進研修会

青少年育成推進員が地域リーダーとして活動できる知識や技能の向上に役立てることを目的に、地区別青少年育成推進研修会を開催しました。青少年育成コーディネーターの積極的な支援を受けながら、市町村青

少年育成推進員連絡協議会の代表が中心となって企画・運営にあたり、実施しました。

各地区の開催概要は、下記のとおりです。

令和7年度地区別青少年育成推進研修会の開催概要

(敬称略)

ブロック	開催日	場 所	内 容
中部	11/8 (土)	群馬県 生涯学習センター	●講演 「未来を生き抜く子供たちに伝えたいこと」 講師 群馬県住みます芸人 アンカンミンカン 富所 哲平
西部	10/27 (土)	藤岡市民ホール	●講演 最近の少年非行の傾向と非行防止 講師 前橋少年鑑別所統括専門官 神部 綾那
吾妻	9/12 (金)	中之条町 ツインプラザ	●子どもと遊べるペーパークラフト 講師 高山 明彦
利根	10/18 (土)	沼田市役所 Waltzホール	●講演 「少年非行の現状と青少年の犯罪心理等」 講師 群馬県生活子ども部私学・青少年課 指導担当係長 齋藤 宏文
東部	9/7 (日)	太田市社会教育 総合センター	●講演 講演 人を「支える」ということ 講師 東部児童相談所 発達支援係 副主幹 岡 直矢

地域の活動紹介 1 南牧村青少年育成推進員連絡協議会

地域・組織・活動の概要

南牧村（なんもくむら）は群馬県甘楽郡に属し、県南西部の山間に位置します。南は多野郡上野村、西は長野県南佐久郡、北から東は下仁田町に接しています。村の中央を南牧川が縦断し、川沿いに集落が形成されています。

令和6年4月、南牧小学校と南牧中学校を統合し、1年生から9年生までを一貫して学ぶ義務教育学校「なんもく学園」がスタートしました。現在、児童生徒は19名（令和7年10月1日現在）小人数ですが個を大切にしたり教育や異年齢交流を重視した特色ある教育を進めています。

南牧村青少年育成推進員は、子供たちが健やかに成長できるよう、地域全体で見守り支える活動を行っています。

あいさつ運動

夏休み明けの登校日に、学校および南牧村駐在所連絡協議会と連携し、なんもく学園玄関前にて「あいさつ運動」を行いました。



推進員や地域の大人たちが子供たちを迎え、元気な

あいさつを交わすことで、地域全体で子供を見守り育てる意識を高めました。子供たちの笑顔と声が響き合い、学校生活の良いスタートとなりました。

人権教育推進講演会

子供たちが人権について理解を深め、互いを尊重し合う心を育むことを目的に、なんもく学園児童生徒を対象とした講演会を開催しました。令和6年12月4日(水)、なんもく学園多目的ホールにて、西部教育事務所の伊藤洋一氏を講師に迎え、約2時間にわたり人権尊重の大切さについて学びました。子供たちは講師の話に真剣に耳を傾け、日常生活の中で互いを思いやる態度を育むきっかけとなりました。



南牧村青少年健全育成推進合同会議

南牧村では、毎年、学校が夏休みに入る前に「南牧村青少年健全育成推進合同会議」を開催しています。この会議では、青少年の健全育成に関する取り組みや課題について、学校・地域・警察などが連携しながら情報を共有し、子供たちが安心して夏休みを過ごせるように協議を行っています。

市町村会長等研修会

10月11日、群馬県庁2階のビジターセンターで市町村会長等研修会を行いました。

本年度は、講演会ではなくて、情報提供の場とし、3つの地区からそれぞれの活動の様子を発表していただきました。館林市からは年間を通しての青少推の活動について、前橋市からは地区青少推による夏休み工作教室の様子を、沼田市からは行政や各団体との連携、リーダー養成等についてお話をいただきました。質疑も活発に行われ、最後に子ども・若者支援協議会の飯塚欣彦様から、各発表について講評をいただきました。

初めての試みでしたが、県内各地で様々な活動が行われている様子を披瀝していただき感謝申し上げます。



地域の活動紹介 2 嬭恋村青少年育成推進員連絡協議会

地域・組織・活動の概要

嬭恋村は群馬県の西北部に位置し、村の東部を除く外周には、浅間山・湯の丸・吾妻山（四阿山）・白根山などの標高2,000m級の山々が連なり、日本の大分水嶺をなしています。

嬭恋村青少年育成推進員は、村内各地区から選出された18名で構成され、本村の青少年の健やかな成長を目指し活動に取り組んでいます。

嬭恋クリーン大作戦

毎年6月に村内幼稚園児～中学生までの親子を対象に、バラギ高原キャンプ場でのカレー作りや周辺の清掃活動を行っています。青少年育成推進員の他に、嬭恋高等学校の生徒もボランティアとして参加してくれています。

今年度は親子8組の参加により開催されました。



嬭恋村あいさつ運動

例年夏休み期間に、小中高生と一般の方を対象に標語の部・ポスターの部の作品募集を行っています。

優秀作品については「嬭恋村あいさつ運動カレンダー」を作成し、村内の子ども安全協力の店に配布しています。また、村の広報誌にも掲載しています。



青少年育成支援活動事業

青少年健全育成及び「少年の日」「家庭の日」の普及活動を進めるとともに、困難な状況にある子ども・若者への支援を目的に、次の地区で実施しました。今年度は15地区から申請があり、13地区の実施となりました。

- 前橋市 夏休み工作教室（プロペラ飛行機作り）
- 伊勢崎市 親子デイキャンプ（飯盒炊飯、木工教室）
- 渋川市 木育教室（ポンポン船作り）
- 榛東村 親子野菜作り体験教室（種まき、苗植え、収穫祭）
- 吉岡町 看板設置（標語募集）、交流活動（昔遊び）
- 富岡市 健全育成標語募集、掲示
- 下仁田町 防災キャンプ（非常食、防災グッズ作り、避難所設置体験）
- 沼田市 アウトドアキッズ（野外レク、自然体験、かるた巡り）
- 館林市 友好都市との交流活動（オンラインで交流）
- みどり市 おぜのかみさま啓発事業（プラパン、バルーンアート作り）
- 板倉町 デイキャンプ（魚釣り、バーベキュー、アスレチック）
- 明和町 絵画作品コンクール（ぼくのゆめ、わたしのゆめ）
- 邑楽町 少年の日啓発活動（大声コンテスト）

地域の活動紹介 3 片品村青少年育成推進員連絡協議会

地域・組織・活動の概要

群馬県北東部、利根郡に位置する片品村は、豊かな自然に囲まれた山村です。標高が高く、夏は冷涼、冬は積雪に恵まれます。

村は、日本有数の湿原を擁する尾瀬国立公園への玄関口として知られ、ミズバショウや高山植物を目当てに多くの観光客が訪れます。冬季には複数のスキー場が営業し、首都圏からの来訪者でにぎわいます。

片品村青少年育成推進員は、村内各地から選出された15名で構成され、本村の健やかな成長を目指し活動に取り組んでいます。

片品村青少年健全育成合同会議

毎年7月に青少年育成推進員に加え、教育長、学校長、区長、育成会長、教育員等をメンバーとした青少年健全育成中央会議を開催しています。

健全育成推進員の方をはじめ、学校や各団体の方にお集まりいただき、子どもたちの健全育成のため地域全体で青少年の問題について考え検討する場とするともに、講師の先生をお招きして講演会を実施しています。

今年度は、利根沼田教育事務所次長林誉隆様に「地域社会の役割」と題し、講演していただきました。

各地区では地区会議の実施、子ども会活動等を行い、子どもたちが元気に楽しく過ごせるよう地域ぐるみで子どもたちを見守っていただける活動を行いました。青少年健全育成活動の一環として青少年育成推進員と地区役員・子ども会役員等で子ども神輿を実施しました。親子が一緒になって楽しめる体験活動を今後も支援していきたいと思います。



群馬県青少年育成推進会議会長表彰

令和7年度群馬県青少年育成推進会議会長表彰は、28名の方が受賞されました。

11月29日に行われた群馬県青少年育成大会の中で表彰を行いました。当日は18名の受賞者が出席し、代表して渋川市の杉木雅宏様が清水会長から、表彰状と記念品を授与されました。

受賞者の皆様の10年以上にわたる青少年健全育成に対する熱心な活動へ労いの言葉を賜ります。



全国青少年育成県民会議連合会会長表彰

青少年指導者等顕彰

青少年指導者で、青少年の健全育成について顕著な活動をしたと認められる者を顕彰し、その活動を更に奨励するために表彰しています。

令和7年度は、県理事の設楽祐五さん（高崎市）が表彰されました。設楽さんは平成14年に青少年育成推進員に委嘱され、令和5年度から県理事として、23年にわたり青少年の健全育成活動に尽力され、大きな功績をあげています。



青少推・青少年補導センター補導員合同研修会

2月7日、群馬県公社総合ビルで、166名の推進員、補導員の参加を得て、合同研修会が行われました。「現代の子ども達の深層心理と心のSOS!?よりよい関係を築くために」と題して、心理カウンセラー（公認心理師、臨床心理士）のおよこ心理相談室室長の佐藤文昭様よりお話を伺いました。



群馬県総合表彰

群馬県では、多年にわたり公共福祉のために献身的に尽力された方を表彰しています。

令和7年度は131名の方が受賞され、本会からは、福祉の分野において村井田佳子理事（安中市）が受賞されました。村井田理事は平成11年に青少年育成推進員に委嘱され、平成26年より県理事に就任し、精力的に活動し青少年健全育成に貢献しています。



おぜのかみさま県民運動

おぜのかみさま県民運動は、セーフネット標語「おぜのかみさま」を活用し、青少年が安全・安心にインターネットを利用するための運動です。推進員の方々にも、学校、家庭、地域、職場などで、口コミをはじめとした各種の啓発活動を展開していただいています。

また、令和4年度から「おぜのかみさま」ぐんまちゃんのデザインが新しく変わりました。新しいキャラクターも加わり、ぐんまちゃんと一緒に学ぶことをコンセプトに、インターネットを安全・安心に利用する際のルールを身につけさせ、子どもたちをインターネットの危険から守ります。

セーフネット標語「おぜのかみさま」

- お** くらない (写真)
- ぜ** ったい会わない (ネットで知り合った者)
- の** せない (個人情報)
- か** きこまない (悪口など)
- み** ない (有害サイト)
- さ** がさない (出会い)
- ま** もる (ルール)



「おぜのかみさま」は、子どもをネット犯罪から守る7つのルールです。